

本日、林市長が、小泉 環境大臣、三谷 文部科学大臣政務官、 長坂 経済産業副大臣、坂井 官房副長官へ 提案・要望を行いました

本日（11月30日）、林市長が、小泉 進次郎 環境大臣、三谷 英弘 文部科学大臣政務官、長坂 康正 経済産業副大臣、坂井 学 官房副長官へ国の制度及び予算に関する提案・要望を行いました。

1 日時・提案先・提案内容

日時	提案・要望先	主な提案・要望内容
11時30分 ～11時45分	環境省 小泉 進次郎 環境大臣	<ul style="list-style-type: none"> 2050年の脱炭素社会実現に向けた取組への推進
15時15分 ～15時30分	文部科学省 三谷 英弘 大臣政務官	<ul style="list-style-type: none"> GIGA スクールの運用に向けた支援の拡充 新たな劇場整備の実現 文化芸術施策等への支援の充実
14時30分 ～14時45分	経済産業省 長坂 康正 経済産業副大臣	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者等への支援 2050年の脱炭素社会実現に向けた取組への支援
16時30分 ～16時45分	内閣官房 坂井 学 内閣官房副長官	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市の提案・要望（全体説明）

※経済産業省では、指定都市市長会を代表して「追加経済対策に係る国の第3次補正予算案編成に対する指定都市市長会要請」を併せてお渡ししました。

2 提案・要望の様子 ※写真データを希望される場合は、お問合せ先までご連絡ください。



(小泉 環境大臣)



(三谷 文部科学大臣政務官)



(長坂 経済産業副大臣)



(坂井 官房副長官)

3 林 市長コメント

このたび、横浜市の持続的な成長につながる政策や国の積極的な財政支援が必要な政策について、関係府省に提案・要望を行い、しっかりと受け止めていただきました。

小泉 環境大臣からは、「国と地方で今後も連携して脱炭素社会実現に向けた取組を推進していく。先進事例を積極的に進めている横浜市には是非、参画いただきたい。」とのコメントをいただきました。

三谷 文部科学大臣政務官からは、「各自治体には生徒1人1台端末の整備にご尽力いただいております。円滑運用できるよう、また、横浜が文化発信の都市として活躍できるよう、国としてもしっかりと取り組んでまいりたい。」とのコメントをいただきました。

長坂 経済産業副大臣からは、「新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にある中小企業への支援は重要と考えている。脱炭素社会実現に向けた取組については、経済成長につながるよう、横浜市をはじめ自治体としっかりと連携してまいりたい。」とのコメントをいただきました。

坂井 官房副長官には、提案・要望内容をしっかりと受け止めていただきました。

このたび提案・要望を行った政策は、いずれも横浜市が直面する課題の解決に必要であり、国にとっても、コロナ禍を乗り越え、持続的な成長・発展につなげていくために大きなメリットがあります。国と連携して、ぜひこれらの政策を進めてまいりたいと思います。

横浜市は、今後とも国や他の自治体と緊密に連携して、住民の皆様命と暮らしを最前線でお守りし、地域・圏域の持続的な成長を実現するよう、力を尽くしてまいります。

※今回の提案・要望書は以下のサイトでご覧になれます。

「国の制度及び予算に関する提案・要望」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/bunken/yobo/2020teian.html>

「指定都市市長会提言・要請」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/seisaku/2020/1106shiteitoshi.html>

お問合せ先

【「国の制度及び予算に関する提案・要望」に関すること】

政策局大都市制度推進課地方分権担当課長 長久 伸子 Tel 045-671-2109

【「指定都市市長会提言・要請」に関すること】

政策局大都市制度推進課長 高橋 佐織 Tel 045-671-4323